

SDGs新聞

株式会社コーセー

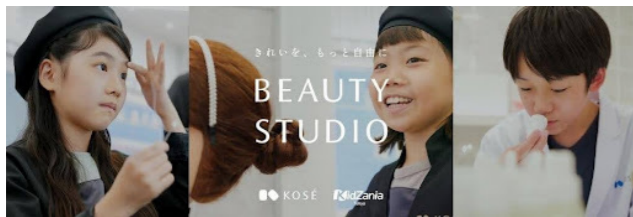
自分の「きれい」、友達「きれい」、みんなの「きれい」を見つけよう

SDGsラジオを読んでみよう！

「化粧品」と聞くと、「大人の女性が使うもの」というイメージはありませんか？
化粧品会社のコーセーでは、子どもたちにもわくわくしながら化粧品に触れ、自分らしい感性を育ててもらえるように、職業体験ができる施設「キッザニア東京」で、「ビューティスタジオ」というパビリオンを出展しています。

ビューティスタジオでは、「きれいをもっと自由に」をコンセプトに、ヘアメイクアップアーティスト、香水の専門家「パフューマー」の職業体験をしながら、自分だけの「きれい」を見つけることができます。
自分が「きれい」だと感じるものと、友達の感じ方は違うことを知る体験は、人それぞれの魅力に気づき、個性を尊重できる社会にも繋がっていきます。
自分らしさを楽しんで、みんならしさを尊重すれば、きっと世の中は今よりも明るく、過ごしやすくなるはずですね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：「ビューティスタジオ」イメージ
(コーセー公式HPより)

化粧品会社のコーセーでは、「化粧品・美容は大人の女性のもの」という従来の考え方ではなく、子どもたちに向けても、化粧品に関わるさまざまな取り組みを行っています。そのひとつが、子どもたちが職業体験できる施設「キッザニア東京」で運営しているパビリオン「ビューティスタジオ」です。この「ビューティスタジオ」では、「きれいをもっと自由に」をテーマに、子どもたちがそれぞれ持つ感性を育み、「きれい」にまつわる多様な価値観に触れながら、化粧品や美容が持つ、心を明るくするような楽しさや、わくわく感を得られる職業体験を提供します。



画像参照：「ビューティスタジオ」イメージ
(コーセー公式HPより)

ビューティスタジオでは、メイクアップやヘアスタイリングが体験できる「ヘアメイクアップアーティスト」と、ルームフレグランスを調香できる「パフューマー」の2つの職業体験をしながら化粧品や美容に触れ、一人ひとり異なる「きれい」を経験できます。また、「ビューティスタジオ」では、子どもたちが安心して暮らせる未来に向けて、人と地球にやさしいさまざまな工夫をしています。例えば、ジェンダーニュートラルな制服などを採り入れることで、男女の性差にとらわれない考え方を育てています。他にも、環境に配慮した素材を活用した化粧小物、自社商品の廃材をアップサイクルした手鏡などを用いることで、「資源を循環させて使うことの重要性」も同時に学べる貴重な場になっています。

キーワード

パフューマー

「調香師」とも呼び、主に化粧品や香水に使用するための香料を調合して、提供する職業です。

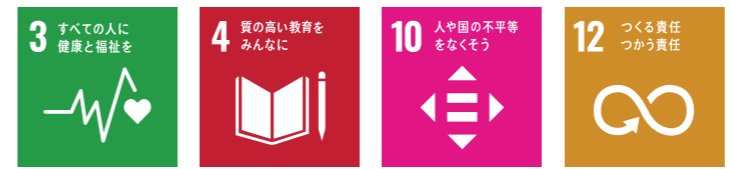
ジェンダーニュートラル

ジェンダー(性別)とニュートラル(中立)の合成語で、男女の性別の差にとらわれない中立的な考え方のことです。

アップサイクル

廃棄予定であったものに手を加え、より良いものに生まれ変わらせることです。品質や価値が上がる点で、「リサイクル」よりもすぐれています。

対象ゴール



みなさんにできること！

いろいろな職業に目を向けて、それがSDGsとどう結びついているのか、みなさんと話し合ってみましょう。

おさらい

- 「キッザニア東京」の『ビューティスタジオ』は一人ひとりが持つ「きれい」を引き出す仕事体験やSDGsについて学ぶことができる。
- 化粧品や美容は、年齢や性別に関係なく、あらゆる人の心に潤いや彩りを与えることができる。
- 「自分らしさ」を通じて感性を養うことで、一人ひとりに多様な価値観があることを知り、仲間の個性も尊重することができる。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

